

とよなかしりつだじゅうはちちゅうがっこうとしょかん  
豊中市立第十八中学校図書館 2020年4月

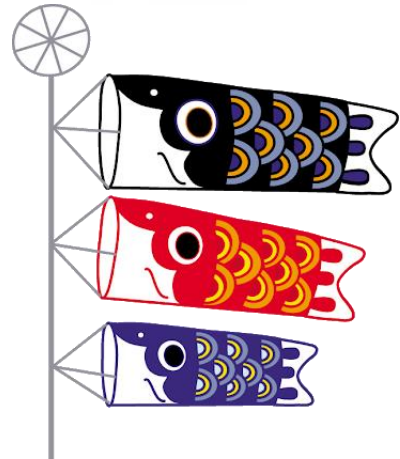
# としょかん 図書館だより

臨時号



## 家で過ごそう STAY HOME していますか？

天気の良いのに家族全員が家にいる…という日が多くなりました。「パンも焼いたし、ケーキも作ったし、『コロナ太り』よ!」という人もちらほら…。日頃できない凝った料理を作るのも楽しみのひとつですが、食欲のコントロールは課題ですね(笑)。



## パソコン・スマホなどをどんどん活用しましょう

この図書館だよりを見ているなら既に知っている人も多そうですが、心身の健康維持や学習に役立つサイトがたくさん出ています。豊中市立図書館のホームページではみなさんが安心して使えるものをまとめて紹介しています。ぜひご覧ください。



## 豊中市立図書館ホームページ

【外出自粛中の好奇心をつなぐ】自宅から使える/楽しめるウェブサイトを紹介します  
<https://www.lib.toyonaka.osaka.jp/2020/04/post-87.html>

例えばここで紹介されている「青空文庫」は、著作権の保護期間が終わった(著者が亡くなって70年経過した)作品や、著作権者が収録を希望した作品が無料で読めるバーチャル図書館になっています。サイトを覗いてみると確かに古い作品が

多いです!けれど国語の教科書でも紹介されている「芥川龍之介」「宮沢賢治」(1年)とか、「太宰治」「夏目漱石」(2年)とか、「森鷗外」「中島敦」(3年)などのいわゆる「文豪」の作品が読めますので、予習がわりに読書チャレンジしてみるのも良いかもしれませんよ。

各学年、約100冊ずつ紹介されています。リストは図書館にありますよ



ところで国語の教科書といえば

18中図書館は「国語の教科書で

紹介されている本」をどれだけ持っていると思いますか?

答えは「49.7%」です。多い?少ない? 無い本については公共図書館もしくは他校の図書館が持っていますので、通常で2~3日もあれば読むことができます。

## たまには昔のファンタジー

3年の教科書で紹介されている「はてしない物語」(P.92)を書いたミヒャエル・エンデの本をご紹介します。



モモ

ミヒャエル・エンデ/著 岩波書店

舞台はイタリアの下町のようなところ。お金はないけれど、みんなそれなりに心豊かに暮らしていました。浮浪児のモモもそんな優しい人たちに囲まれて暮らしています。そんなある日、灰色尽くしの銀行員風の不気味な男が現れます。男は「無駄に過ごしている時間を貯金」するようみんなに勧めます。貯まる時間を計算したメモを見せながら。みんな納得して契約しますが、不思議なことに契約したことを忘れてしまい、次第に気持ちに余裕が無くなっていきます。けれど誰もその原因に気が付きません。そんななか、おかしな現象にようやく気付いたモモがどうやって時間を取り戻すか…というお話です。

なんと45年前に出版されたファンタジーです。「何が自分にとって幸せな生活か」を考えさせる素敵なお話なのですが、装丁が豪華すぎるからか(今は安い文庫版もあります)、なぜか敬遠されてきた本かもしれません。私も大人になってから「読み聞かせ」のために初めて読みました。スミマセン。映画化もされています。印象がより色鮮やかになるこちらもおススメします。